

## Q&amp;A

多発する胃・十二指腸腫瘍性病変を合併した  
Gardner 症候群の 1 例

## 【問 題】

症例：27 歳男性。

主訴：なし。

現病歴：ロシア出身。10 年以上前に Gardner 症候群と診断され、大腸腺腫症に対する腹腔鏡下大腸全摘出術および腹腔内デスマイド腫瘍に対する小腸部分切除術を受けた。術後合併症の短腸症候群に対して 2 年前から高カロリー輸液を併用している。今回、GLP-2 アナログ製剤を導入する目的で施行された上部消化管内視鏡検査で、胃に散在する白色調の陥凹性病変や隆起性病変、および十二指腸に多発する平坦隆起性病変を認め、精査加療目的に紹介となった。

来院時現症：

血液検査所見：WBC 6200/ $\mu$ l, RBC  $552 \times 10^4$ / $\mu$ l, Hb 14.3g/dl, Plt  $26.8 \times 10^4$ / $\mu$ l, TP 8.9g/dl, Alb 4.6g/dl, AST 58IU/L, ALT 65IU/L, LDH 163IU/L,  $\gamma$ -GT 64U/L, BUN 11mg/dl, Cre 0.1mg/dl, Na 139mEq/L, K 2.7mEq/L, Cl 91mEq/L, CRP 3.97mg/dl, 抗 *H. pylori* 抗体 22U/ml.

既往歴：右手背上皮嚢胞, アトピー性皮膚炎。

家族歴：不詳。

薬剤歴：アルプラゾラム 0.4mg 3T3 $\times$ , ロペラミド 1mg 6T3 $\times$ , コデインリン酸塩 3T3 $\times$ ,  
上部消化管内視鏡画像を示す (Figure 1)。

診断と治療は？

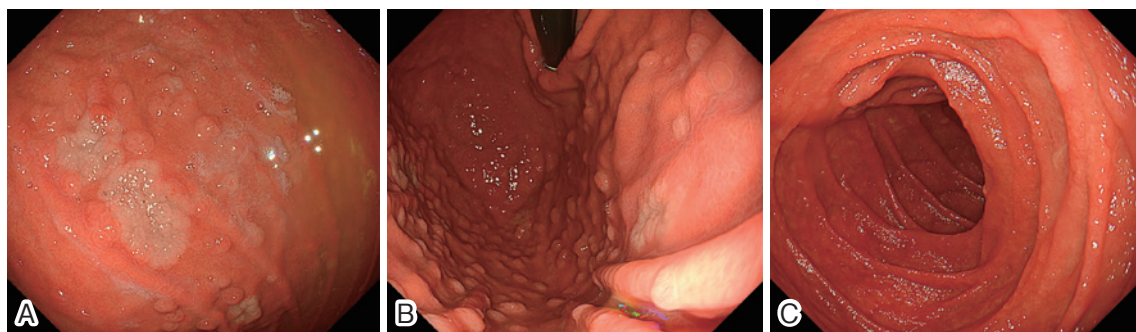


Figure 1. 上部消化管内視鏡像：(A) 体上部大彎, (B) 体上部小彎前壁, (C) 十二指腸。